

# 九州建設専門工事業 ニュース

題字は日高名誉会長筆

発行所 (一社)福岡県建設専門工事業団体連合会 〒810-0022 福岡市中央区薬院1丁目6-5 ホワイティ薬院506号 電話092(406)6776番 発行人 杉山 秀彦

## 魅力感じる環境整備急務

### 日本型枠九州支部が総会

(一社)日本型枠工事業協会九州支部(池之上和夫支部長、会員数91社、特定会員47社)は5月16日、「令和5年度(第63回)定期総会」を福岡市の八幡宮において開催、事業計画案などを可決したほか、各分会の現状報告で深刻な職人不足が浮き彫りとなった。

総会には、来賓として本部の三野輪賢二会長が駆け付けたほか、九州各県より会員53社が参加、単価アップを図るため結束していくことを申し合わせた。



令和5年度 一般社団法人日本型枠工事業協会九州支部 定期総会

建設業界全体で人手不足となっており、若い人が魅力を感じる環境整備が急がれる。何となくでも賃金が安いことであり、ゼネコンに理解を求めることは当然だが、週休2日の技能労働者の融通、技能の向上ならびに確保、工賃に関する調査研究②工事費に関する調査研究③各分会において行う技能検定実技、学科講習その他事業に協力④秋季研

修会を10月10日長崎市において実施する一等を決定した。

役員臨時改選では、大分分会長が茅嶋昭一氏から真砂鉄治氏になったほか、新理事2人が就任した。

永年勤続表彰では、会員の部(25年)で(南山員工務店(長崎)、(南二松建設(長崎)、(15年)で(有濱川組(北九州)、(高崎組(福岡)、(株)光永工務店(前同)、(株)矢津田工業(前同)、(南谷口建設(鹿児島)、(株)斉藤工務店(前同)、(株)後藤建設(熊本)、(株)石和総建(福岡)、(株)松岡建設(前同))の11社が受賞した。

不足も深刻な状況。単価は多少上昇傾向だが、材料等の値上げで経営が圧迫されているとしている。

西日本建設業協同組合(松本一彦理事長、組合員33社)は5月10日、「第48回通常総会」を福岡市の八幡宮において開催した。

同協会では、昨年度定款を変更し、これまでガス圧接が主流となっていたのを溶接継手と機械式継手を加え、総合鉄筋継手業としてスタート。この3工法の継手技術をさらに向上させ営業を展開、事業拡大を図るとしている。

今年度は、▽経営研修の実施(キャリアアップシステム制度の周知および技能者登録促進、インボイス制度への対応準備、標準見積書の普及)▽技術研修会および講演会の開催(防水施工管理技術者、建築施工管理技術士、建設業経理士の講習会)▽全防協の事業推進および支部運営に対する理解の増進(建設業の魅力情報の発信)▽組織の強化(未加入の各県協会の加入推進、各県協会会員への全防加入促進)▽登録防水基幹技能者認定資格取得の推進などの事業を柱に活動する。

## 国土交通省 令和5年春の叙勲

受章おめでとうございます!  
〈旭日双光章〉



安井 廣志 (73歳)  
㈱安井組 代表取締役  
(一社)日本建設躯体工事業団体連合会 副会長  
福岡市

〈瑞宝単光章〉



花屋 伸一 (55歳)  
㈱長瀬建設 工事部長 宮崎県三股町

研修は新入社員など初心者を対象に、4月から約40日間かけて座学や実技などを行った。



13人に修了証  
新入社員研修 九州建専連

建設業専門団体九州地区連合会(杉山秀彦会長)は5月19日、令和5年度新入社員研修(躯体基礎科とび・型枠科)を福岡市南区の福岡経営者労働福祉協会で開いた。写真。

研修には7社から13人が参加し、受講者一人一人に杉山会長から修了証などが授与された。

杉山会長は「新入社員の方々にとって、研修の期間は建設業界を肌で感じる最初の機会となった。今後も知識を身に付け、それぞれの現場で活躍することを期待する」として上で「専門工事業

は建設業界にとって絶対に必要な分野で、皆さんの活躍が社会貢献につながる。業界発展への一翼を担えるよう、さらなる活躍を期待する」と呼び掛けた。

議事では、6号議案までを慎重審議し原案通り承認された。その結果、令和5年度事業計画は、①構造設計(JSCA)、

松本理事長(栄進工業)は、西日本各地から参集したこと感謝を述べた後「アセチレンや酸素など資源が少ない日本にとっては物価高に歯止めを掛けられない訳だが、われわれ業界で情報交換しながら乗り越えていきたい。九州における建設投資を見るとき、シリコンアイランドといわれるほど世界や国内の半導体メーカーが次々と設備投資を行っている。一方で技能者不足が懸念されるが、皆さんと協力し合いより良い単価で受注していきたい」とあいさつ。



2023年度(第11期)運営総会

を福岡市博多区のオリエンタルホテル福岡で開催、資格取得の推進や組織強化に取り組み今年度の事業計画を決めた。開会に当たり、津上支

部長(津上産業㈱、福岡)は「多くの企業で賃金を引き上げる動きが広がる一方で、業界には人が入ってこず、人手不足が深刻化している。人を呼び込むためにも処遇を改善し、魅力ある業界にする必要がある。地位向上とともにしっかりと取り組んでいきたい」と述べた。

議案審議では4年度の事業報告および決算報告、5年度の事業計画案および予算案を原案通り承認した。

今年度は、▽経営研修の実施(キャリアアップシステム制度の周知および技能者登録促進、インボイス制度への対応準備、標準見積書の普及)▽技術研修会および講演会の開催(防水施工管理技術者、建築施工管理技術士、建設業経理士の講習会)▽全防協の事業推進および支部運営に対する理解の増進(建設業の魅力情報の発信)▽組織の強化(未加入の各県協会の加入推進、各県協会会員への全防加入促進)▽登録防水基幹技能者認定資格取得の推進などの事業を柱に活動する。

今年度は、▽経営研修の実施(キャリアアップシステム制度の周知および技能者登録促進、インボイス制度への対応準備、標準見積書の普及)▽技術研修会および講演会の開催(防水施工管理技術者、建築施工管理技術士、建設業経理士の講習会)▽全防協の事業推進および支部運営に対する理解の増進(建設業の魅力情報の発信)▽組織の強化(未加入の各県協会の加入推進、各県協会会員への全防加入促進)▽登録防水基幹技能者認定資格取得の推進などの事業を柱に活動する。

▽7月6日(木)16時〜  
九州高土工事業連合会第57回通常総会「八幡宮にて」

▽7月25日(火)14時半〜  
「第20回建専連九州定期総会」及び「第24回九州地方整備局と建専連、地区建専連幹部との意見交換会」八幡宮にて。

「第20回建専連九州定期総会」及び「第24回九州地方整備局と建専連、地区建専連幹部との意見交換会」八幡宮にて。

「第20回建専連九州定期総会」及び「第24回九州地方整備局と建専連、地区建専連幹部との意見交換会」八幡宮にて。

会員の皆様御紹介よろしくお願ひします。〈お問い合わせ・お申込み〉 建団連共済会事務局 〒810-0022 福岡市中央区薬院1丁目6-5 ホワイティ薬院506号 TEL 092(406)6776 FAX 092(406)6701

(政府労災上乗せ補償+普通死亡保障)充実した制度 建団連共済会に入会しましょう!!

【建設業福利厚生制度】記名+無記名式 (A型)総合共済制度 1口につき 月会費1,100円で 労災死亡930万 一般死亡230万

【建設業福利厚生制度】無記名式 (B型)建設安全共済制度 1口 月会費300円で労災死亡500万 おひとり様3口まで加入でき、労災死亡も1500万と安心

ますます充実魅力を増した 最良の共済制度にぜひ入会を!

【『経営事項審査制度』\* 下請け担保で加点評価

【建設業福利厚生制度】記名+無記名式 (A型)総合共済制度 1口につき 月会費1,100円で 労災死亡930万 一般死亡230万

【建設業福利厚生制度】無記名式 (B型)建設安全共済制度 1口 月会費300円で労災死亡500万 おひとり様3口まで加入でき、労災死亡も1500万と安心

ますます充実魅力を増した 最良の共済制度にぜひ入会を!

【『経営事項審査制度』\* 下請け担保で加点評価

会員の皆様御紹介よろしくお願ひします。〈お問い合わせ・お申込み〉 建団連共済会事務局 〒810-0022 福岡市中央区薬院1丁目6-5 ホワイティ薬院506号 TEL 092(406)6776 FAX 092(406)6701

(政府労災上乗せ補償+普通死亡保障)充実した制度 建団連共済会に入会しましょう!!

# 経営安定化へ適正単価確保 福岡県型枠組合連合会北友会



福岡県型枠組合連合会北友会(種子尾浩次郎会長)は5月30日、北九州市小倉北区の小倉飯店で「令和5年度第54回定期総会」を写真1を開催した。

種子尾会長(大益建興)が諸事情で欠席のため、会長あいさつ代理で平原健二相談役(平原建設工業)は「型枠業界の総会」を写真2を開催した。

も仕事量は増えつつあるものの、人手不足が顕著化している。若手の人材確保には適正な単価の確保が求められる。将来の業界のためにも強く訴えていく必要がある。今後北友会の強みである団結力を生かし、会員各社の経営安定化、適正単価の確保、型枠単価の向上に努めていく」と述べた。

臨時役員改選で新会長に坂上力雄氏(坂上スタイル工業)を選出した。

5年度の事業計画で、①適正単価の確保に、②研究開発の技術向上への、登録基幹技能者、技能士、指導員の受

講推進ならびに講習会の開催③歩こう会(6月11日と10月)④福友会との意見交換会などの事業を推進する。

フェスティバルなどのイベントも実施していきたい」とあいさつ。

議事では、坂本会長を議長に5号議案までを審議し全議案を承認した。

5年度事業計画は、①6月に「ものづくり新弟子受入事業」の実施②7月に技能試験の実技練習を行う③9月以降に小学生を対象に「ものづくり体験講座」を実施する④福岡県職業能力開発協会

等と共同で福岡技能フェスティバルを開催し、子供を対象としたものづくり体験コーナーを企画する⑤会員の交流を目的に夏休みにボウリング大会を開催する等一を決定。

役員改選で坂本隆生氏は常任相談役となった。新会長に就任した坂上氏は「タイトルの需要はせばまっているが、ビルもので大型タイトルを張ったり、戸建てでダイニングルームにひと壁だけタイトルを施すなど、意匠を凝らした使用方法も出てきている。そのような需要開拓にも取り組みたい」と抱負を語った。

## CCUSレベル4の技能者年収 中位で707万円

〈国交省〉  
設計労務単価の行き渡り前提

全国(全分野)(年収) 本資料に示す金額に法的拘束力はなく、支払いを義務付けるものではない

レベル1 (下位-中位)	レベル2 (中位)	レベル3 (中位)	レベル4 (中位-上位)
3,740,000-5,010,000円	5,690,000円	6,280,000円	7,070,000-8,770,000円

「上位」は上位15%程度の賃金水準であり、最上値ではない

労働日数で、公共工事設計労務単価が賃金として行き渡った場合に考えられる技能者の年収について、建設キャリアアップシステム(CCUS)のレベル別に試算した結果を公表した。全国・全分野の平均年収は、ポリウムゾーンの中心で、最高のレベル4が707万円となっている。

4年度の事業報告および会計収支報告、5年度の事業計画案および収支予算案を原案通り承認。任期満了に伴う役員改選で、新会長に平木氏、副会長に石田洋氏(大津洋建設)に石田洋氏(大津洋建設)に佐賀、中村利夫氏(ナカムラ内装 鹿児島、清田武氏(日建金属)北九州を再任した。

事業計画では、全室協会の健全化と技能者の確保・育成に重点を置く事業計画を決めるとともに、役員改選で平木会長を再任した。

建設業への入職を検討する若年世代向けに処遇面のキャリアパスとして示した。設計労務単価の行き渡りに向けた制度上の対応は今後、中央建設業審議会と社会資本整備審議会の基本問題小委員会が必要費用も反映した上で、レベルごとに▽上位(上位15%程度の賃金水準)▽中位(中位程度の賃金水準)▽下位(下位15%程度の賃金水準)の3段階に分けて公表した。

レベル4の上位は平均877万円。技能者数が多い10分野では、電気工事769万円、建設塗装858万円、左官825万円、機械土工890万円、鉄筋849万円、型枠863万円、配管754万円、とび851万円、建築大工847万円、土工849万円となる。橋梁、トンネル、プレストレストコンクリートの3分野は1000万円を超えた。都道府県単位の試算はしていない。

レベル別年収に法的拘束力はなく、支払いを義務付けるものではないが、技能・経験に応じた賃金支払いの目指すべきイメージを建設業界全体で共有するとともに、若い世代に対して処遇面のキャリアパスを示すことが試算の狙い。新3K(給与・休暇・希望)に向けた取り組みもいえる。

レベル別年収の実現に向け、建設キャリアアップシステム処遇改善推進協議会の構成員を中心に、官民一体で賃上げや適正単価での受発注促進に取り組む。

## 福岡第一高生徒に路面標示作業

### 整備局、九州建専連が出前授業



九州地方整備局と建設産業専門団体九州地区連合会は6月13日、福岡第一高等学校の建築土木科の生徒を対象に、学校キャラバン(出前授業)を行った。(一社)全国道路標識・標示業九州協会の協力により、路面標示の作業体験が行われ、写真1、参加した生徒らは、普段何気なく目にしている交通インフラが果たす役割と、それを支える仕事の大切さを再認識したようだった。

九州地整と九州建専連は、建設業への若手入職

者への減少や高齢化などの課題を踏まえ、担い手の確保・育成のための取り組みを実施しているもの。

13日の出前授業には、福岡第一高等学校の建築土木科で学ぶ2年生、約30人が参加。授業の開始に当たり、全標協九州協

会福岡支部の星子洋満支部長は、道路標識・標示業の仕事内容等について説明するとともに、「本日の実習を通して、私たちの業界に興味を持っていただきたい」と等とあいさつ。また、西渉建設産業調整官は「建設業に興味を持ってもらい、将来の選択肢の一つにしていただければ」と呼び掛けた。

オリエンテーションではビデオを放映し、道路標識・標示業の仕事や魅力などを紹介。引き続きグラウンドにおいて、全標協九州協会の会員企業が路面標示の作図と施工作業を実演、生徒らはその様子を見学するとともに

に、実際に施工機を手にとり作業を体験した。実習後の質疑応答では、生徒から「標示されたラインは、どのくらい保たれるのか」「工事費用はどのくらいかかるのか」「標示の管理や点検等は誰がするのか」など多くの質問が投げ掛けられ、星子支部長が一つ一つの質問に丁寧に回答していた。授業に立ち会った同校の乾弘満教諭は、「高校生にとって将来を決定するという作業は、いろいろ悩むこともあると思う。この実習が生徒たちにとって、進路選択を見つめる上で、良い機会になることを期待している」と話した。

冒頭、坂本会長(前坂上スタイル)は「コロナ禍でさまざまな活動ができず皆さん大変だったと思うが、今月初旬から5月に引き下げられたので通常の総会もできるようになった。また、事業活動も将来の職業選択に生かしてもらうため、小学生を対象にしたものづくり体験講座や福岡技能

等と共同で福岡技能フェスティバルを開催し、子供を対象としたものづくり体験コーナーを企画する⑤会員の交流を目的に夏休みにボウリング大会を開催する等一を決定。

役員改選で坂本隆生氏は常任相談役となった。新会長に就任した坂上氏は「タイトルの需要はせばまっているが、ビルもので大型タイトルを張ったり、戸建てでダイニングルームにひと壁だけタイトルを施すなど、意匠を凝らした使用方法も出てきている。そのような需要開拓にも取り組みたい」と抱負を語った。

4年度の事業報告および会計収支報告、5年度の事業計画案および収支予算案を原案通り承認。任期満了に伴う役員改選で、新会長に平木氏、副会長に石田洋氏(大津洋建設)に石田洋氏(大津洋建設)に佐賀、中村利夫氏(ナカムラ内装 鹿児島、清田武氏(日建金属)北九州を再任した。

事業計画では、全室協会の健全化と技能者の確保・育成に重点を置く事業計画を決めるとともに、役員改選で平木会長を再任した。

建設業への入職を検討する若年世代向けに処遇面のキャリアパスとして示した。設計労務単価の行き渡りに向けた制度上の対応は今後、中央建設業審議会と社会資本整備審議会の基本問題小委員会が必要費用も反映した上で、レベルごとに▽上位(上位15%程度の賃金水準)▽中位(中位程度の賃金水準)▽下位(下位15%程度の賃金水準)の3段階に分けて公表した。

レベル4の上位は平均877万円。技能者数が多い10分野では、電気工事769万円、建設塗装858万円、左官825万円、機械土工890万円、鉄筋849万円、型枠863万円、配管754万円、とび851万円、建築大工847万円、土工849万円となる。橋梁、トンネル、プレストレストコンクリートの3分野は1000万円を超えた。都道府県単位の試算はしていない。

レベル別年収に法的拘束力はなく、支払いを義務付けるものではないが、技能・経験に応じた賃金支払いの目指すべきイメージを建設業界全体で共有するとともに、若い世代に対して処遇面のキャリアパスを示すことが試算の狙い。新3K(給与・休暇・希望)に向けた取り組みもいえる。

レベル別年収の実現に向け、建設キャリアアップシステム処遇改善推進協議会の構成員を中心に、官民一体で賃上げや適正単価での受発注促進に取り組む。

予算案について審議が行われ、全会一致で全ての計画では、定例会議の開催日程等を決定するとともに、会員の加入を促進することや、例年通りに施工研究会や勉強会を実施すること、関係機関および団体等との懇談会を行うこと、さらには同団体の目的の達成に必要な事業の実施を進めていくことなどを確認した。

## 技能者の確保・育成に重点

### 全室協九州支部が第48回総会

(一社)全国建設室内工事業協会九州支部(平木松美会長、会員227社)は5月19日、令和5年度第48回総会を写真1を福岡市博多区のオリエンタルホテル福岡で開催した。議案審議では、経営の健全化と技能者の確保・育成に重点を置く事業計画を決めるとともに、役員改選で平木会長を再任した。

福岡県タイイル商工会(中村正昭会長、(株)中村タイイル商会)は4月7日、福岡市内で令和5年度の定期総会を開催した。写真2。同会では、定例会議の開催日程を確認するとともに、今年度の勉強会における実施内容などについても意見を交わした。

福岡市勝浦の華杏弥太楼で開かれた今年度の定例会議では、開会に当たり中村会長があいさつ。「久しぶりに会員の皆さんが集まって総会が開催できることをうれしく思っている。コロナ禍で多くの制約がある中で、本日の運営だったが、本日はさまざまなことについて、直接話し合っている」と考えている」と等と話した。

このうち5年度の事業計画では、定例会議の開催日程等を決定するとともに、会員の加入を促進することや、例年通りに施工研究会や勉強会を実施すること、関係機関および団体等との懇談会を行うこと、さらには同団体の目的の達成に必要な事業の実施を進めていくことなどを確認した。

冒頭、坂本会長(前坂上スタイル)は「コロナ禍でさまざまな活動ができず皆さん大変だったと思うが、今月初旬から5月に引き下げられたので通常の総会もできるようになった。また、事業活動も将来の職業選択に生かしてもらうため、小学生を対象にしたものづくり体験講座や福岡技能

等と共同で福岡技能フェスティバルを開催し、子供を対象としたものづくり体験コーナーを企画する⑤会員の交流を目的に夏休みにボウリング大会を開催する等一を決定。

役員改選で坂本隆生氏は常任相談役となった。新会長に就任した坂上氏は「タイトルの需要はせばまっているが、ビルもので大型タイトルを張ったり、戸建てでダイニングルームにひと壁だけタイトルを施すなど、意匠を凝らした使用方法も出てきている。そのような需要開拓にも取り組みたい」と抱負を語った。

4年度の事業報告および会計収支報告、5年度の事業計画案および収支予算案を原案通り承認。任期満了に伴う役員改選で、新会長に平木氏、副会長に石田洋氏(大津洋建設)に石田洋氏(大津洋建設)に佐賀、中村利夫氏(ナカムラ内装 鹿児島、清田武氏(日建金属)北九州を再任した。

事業計画では、全室協会の健全化と技能者の確保・育成に重点を置く事業計画を決めるとともに、役員改選で平木会長を再任した。

建設業への入職を検討する若年世代向けに処遇面のキャリアパスとして示した。設計労務単価の行き渡りに向けた制度上の対応は今後、中央建設業審議会と社会資本整備審議会の基本問題小委員会が必要費用も反映した上で、レベルごとに▽上位(上位15%程度の賃金水準)▽中位(中位程度の賃金水準)▽下位(下位15%程度の賃金水準)の3段階に分けて公表した。

レベル4の上位は平均877万円。技能者数が多い10分野では、電気工事769万円、建設塗装858万円、左官825万円、機械土工890万円、鉄筋849万円、型枠863万円、配管754万円、とび851万円、建築大工847万円、土工849万円となる。橋梁、トンネル、プレストレストコンクリートの3分野は1000万円を超えた。都道府県単位の試算はしていない。

レベル別年収に法的拘束力はなく、支払いを義務付けるものではないが、技能・経験に応じた賃金支払いの目指すべきイメージを建設業界全体で共有するとともに、若い世代に対して処遇面のキャリアパスを示すことが試算の狙い。新3K(給与・休暇・希望)に向けた取り組みもいえる。

レベル別年収の実現に向け、建設キャリアアップシステム処遇改善推進協議会の構成員を中心に、官民一体で賃上げや適正単価での受発注促進に取り組む。

予算案について審議が行われ、全会一致で全ての計画では、定例会議の開催日程等を決定するとともに、会員の加入を促進することや、例年通りに施工研究会や勉強会を実施すること、関係機関および団体等との懇談会を行うこと、さらには同団体の目的の達成に必要な事業の実施を進めていくことなどを確認した。